

新国立劇場バレエ団

ガラ公演 クラシック・バレエ・ハイライツ

日本最高峰のバレエカンパニーによる贅沢なステージ



プログラム program

『パド・カトル』

『アリアのための序曲』

『ドン・キホーテ』

第3幕よりグラン・パド・ドゥ

『白鳥の湖』

第2幕

2014年1月26日(日) 13:30開演 (13:00開場)

姫路市文化センター 大ホール

S席 6,000円、A席 4,000円、B席(2階) 3,000円 (全席指定)

※小学生未満のお客様のご入場はご遠慮ください。

発売開始2013年10月24日(木)

【友の会会員 10月22日(火)】

〈プレイガイド〉

- 姫路市文化センター TEL(079)298-8015 ●電子チケットぴあ TEL(0570)02-9999 (Pコード/432-446)
- バルナソスホール TEL(079)297-1141 ●ローソンチケット TEL(0570)084-005 (Lコード/57978)
- 姫路キャスパホール TEL(079)284-5806 ●加古川総合文化センター TEL(079)425-5300

※姫路市文化センター、バルナソスホール、姫路キャスパホールの各プレイガイドについて
・営業時間は、午前9時から午後5時までです。
・友の会及び一般発売初日の電話予約は、午前10時から受付いたします。
・10枚以上一括購入の場合は、料金を1割引いたします。

主催/公益財団法人姫路市文化国際交流財団
共催/姫路市 後援/姫路市教育委員会
制作/新国立劇場

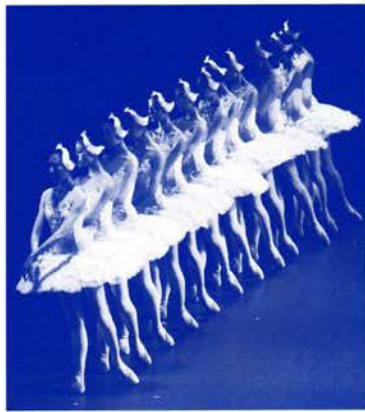
【お問い合わせ先】公益財団法人姫路市文化国際交流財団 振興課 〒670-8544 姫路市西延末426番地1姫路市文化センター内 TEL079-298-8015 <http://www.3.ocn.ne.jp/~bunka/center/>

新国立劇場バレエ団

新しい舞台芸術の拠点として開場した新国立劇場とともに、1997年に新国立劇場バレエ団は発足しました。「白鳥の湖」「眠れる森の美女」「くるみ割り人形」といった古典作品から、バランシンをはじめとする振付家による20世紀の名作や現代振付家の作品に至るまで幅広いレパートリーを持っています。また、世界の振付家に新作を委嘱してバレエ団としての独自性も打ち出しています。

'04年には「ライモンダ」で、朝日舞台芸術賞を受賞。'08年に米国ケネディ・センターで初の海外公演を行い、'09年にはモスクワ・ボリショイ劇場で「椿姫」(牧阿佐美振付)を上演し大きな成功を収めました。特に美しいコール・ド・バレエは絶賛され、国際的にも高い関心と評価を得ました。

日本のバレエ界に多大な貢献をしてきた島田廣、牧阿佐美という歴代の芸術監督の後を継ぎ、現在バレエ団の芸術監督を務めるのは、現代英国を代表する振付家デヴィッド・ピントレー。'05年に「カルミナ・ブрана」でピントレーとバレエ団とは公演を通じて強い信頼関係を築き、'08年に新国立劇場バレエ団のために新作の全幕バレエ「アラジン」を振り付けたピントレーは、2010/2011シーズンより芸術監督に就任。バレエ団は「A New Direction」という新しいテーマを掲げ、'11年に彼の振付による新作の全幕バレエ「パゴダの王子」を世界初演。バレエ団はさらなる飛躍を目指しています。



出演ダンサー



小野 絢子



福岡 雄大



本島 美和



米沢 唯



貝川 鐵夫(姫路市出身)



さいとう 美帆



寺田 亜沙子



奥村 康祐



堀口 純



丸尾 孝子



輪島 拓也



吉本 泰久

ほか 新国立劇場バレエ団



第1部

『パ・ド・カトル』 音楽:チェーザレ・プーニ 再構成:大原 永子
 グラン:米沢 唯 グリッジ:堀口 純 チェリート:細田 千晶 タリオーニ:本島 美和
 元はジュール・ペローがプーニの曲に振り付けた、ガラ公演などでよく上演されるプロットの無い一幕バレエ。1845年にロンドンで初演。当時最高のバレリーナ4名が一同に会して技を競い合う作品ということで、一大イベントだったと言われている。残念ながらペローの振り付けは失われたが、その後1936年にレスターがマルコワ=ドーリン=バレエに、41年にドーリンがアメリカン=バレエ=シアターに振り付けている。

『アリアのための序曲』 音楽:ヨハン・セバスティアン・バッハ 振付:貝川 鐵夫
 貝川 鐵夫、輪島 拓也、吉本 泰久
 男性3名によって踊られる作品。バレエ団メンバー貝川鐵夫(姫路市出身)の振付により、2012年12月に新国立劇場で上演された。静謐な中にも男性ならではの力強さを感じさせる魅力的な小品である。

『ドン・キホーテ』第3幕よりグラン・パ・ド・ドゥ
 音楽:レオン・ミンクス 振付:マリウス・プティバ、アレクサンドル・ゴルスキー
 改訂振付:アレクセイ・ファジェーチェフ
 キトリ:寺田 亜沙子 バジル:奥村 康祐
 スペインを舞台にした、明るい恋物語。町の人気娘キトリと床屋バジルの恋に、貴族と結婚させようと画策しているキトリの父親は大反対。そこで、ドン・キホーテがひと肌脱ぐことになるが…。第3幕は、キトリとバジルが盛大な結婚式を挙げる場面。ここで踊られるキトリとバジルのグラン・パ・ド・ドゥは、片足で32回転する高度な技などが盛り込まれており、抜粋上演されることも多い。今回はこのグラン・パ・ド・ドゥに女性ダンサーによるアントレ(導入)とヴァリエーションが挿入された、より華やかなバージョンにて上演される。

第2部

『白鳥の湖』第2幕
 音楽:ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー 振付:マリウス・プティバ、レフ・イワーノフ
 オデット:小野 絢子 ジークフリート:福岡 雄大
 古典バレエの代名詞ともいえる名作。チャイコフスキーの哀切に満ちた曲想にのせて白鳥に変えられたオデット姫と王子の恋を描く。第2幕は、王子がオデット姫に会う場面。悪魔ロートバルトによって白鳥に変えられたオデットたちは、夜だけ人間の姿に戻ることができる。王子は気高く美しいオデットの哀しい身の上を聞き、彼女を魔法から解くために愛を誓う。王子とオデットのパ・ド・ドゥ、有名な4羽の白鳥、また、新国立劇場バレエ団ならではの美しい白鳥の群舞など見所はつきない。
 ※キャストは変更となる可能性がございます。



- JR姫路駅・山陽電車姫路駅から約1.5km
- 神姫バス姫路南ターミナル3番のりばから乗車、「姫路市文化センター前」下車すぐ。(約10分)
- 徒歩で約25分 ● タクシーで約5分
- 山陽電車手柄駅約600m:徒歩で踏切を渡り西へ約15分
- 自動車では、姫路バイパス「姫路南ランプ」を下車、北進して約1kmの「東延末」交差点を左折し、直進約1km。又は姫路バイパス「中地ランプ」を下車、北進し、2つ目の信号を越えて、陸橋の左側道を直進して左折約600m。

※復路バス発車時刻(姫路駅行き) 15:22、16:43、17:27
 ※駐車場に限りがありますので、ご来場には公共交通機関をご利用ください。